

【第一学年 保健体育科 学習指導案】

平成19年10月26日(金)5校時

学級 1年1組(男子20名・女子19名 合計39名)

1 単元名 第1章 心身の機能の発達と心の健康

2 単元について

(1) 単元について

中学生期は2度目の発育促進期であり、身体の機能が急激に成長する。それに伴って精神も発達し、自己形成がなされる大切な時期である。そのため、身体の機能の発達についての正しい知識を持ち、様々な欲求やストレスに適切に対処しながら、心身の調和を保ち、心を健康に生活する力が必要である。

そこで、本単元では、人間の身体と精神が、生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することを理解し、それに伴って起こる現象について考え、心を健康に保つ方法について知識を深めていくことを目標とする。

(2) 生徒について

アンケート調査結果を見ると、本学級は、体育の授業を大多数の生徒が好意的に捉えている。保健分野についても、だいたい意欲的に取り組んでいるが、「つまらない」「わからない」ときがあると捉えている生徒も少なくない。

授業の雰囲気は落ち着いており、発言も多く意欲的に取り組んでいる。男女の仲が良く、話し合い活動も活発にできる。性についてふざけた反応を見せる生徒はほとんどいないが、身体の機能の発達については、漠然とした知識しか身に付いておらず、発達に伴う現象や適切な対応については、殆ど考えが深められていない状況である。

そこで、心身の発達については、資料や図を使いながら視覚的に理解させ、それに伴う欲求やストレスに対する適切な対処の仕方について、男女一緒に話し合いをさせることで、異性や他人を思いやりながら心健やかに生活していく態度を身につけさせたい。

(3) 指導の構想

1992年以来文部科学省は、積極的に性教育の推進を呼びかけてきた。未熟な性体験は非常に危険な行為であるという認識は、今も昔も変わりがない。しかし、昨今は、従来の「安全な性行為」を教える性教育が、本当に有効であったかが厳しく問われてきている。つまり、性に関する知識を学ぶだけでは、相手への思いやりや将来親になる自分やわが子のことを考えた性行動には結びつかないのである。生命の大切さや尊厳、自分や相手を大切にすることを心がけることが重要なのである。

そこで、本単元では、からだの発育や発達について、知識としては、基本的で、必要な最小限のものだけに押さえることとした。また、自他の生命の尊重や、相手を思いやる関係、心の健康という部分について、男女が一緒に考えることで、お互いを認め合い、望ましい関係で、心身が健康で安全な生活をおくろうとする態度を育てていきたい。

3 単元の目標

心身の機能の発達と心の健康について理解させる。

- ・身体機能の年齢にともなう発達と二次性徴の内分泌の働きを理解する。
- ・精神機能に対する生活経験の影響と思春期に於ける自己形成について理解する。
- ・心の健康の保持について理解し、欲求に対する適切な対処の仕方と判断力を身に付ける。

4 単元の評価規準

- < 関心・意欲・態度 > 健康の保持増進を図るため、自主的に、健康で、安全な生活をおくろうとしている。
- < 思考・判断 > 自他の生命を尊重し、心の健康を保つための正しい判断力が身に付いている。
- < 知識・理解 > 身体機能の発達と二次性徴の発現に伴う身体的、精神的変化について正しく理解し、健やかな生活をおくるための方法を身に付けている。

5 単元の指導計画

時数	テーマ	学習内容
1	からだの発育・発達	からだの発育・発達のちがいと中学生期の特徴
2	呼吸器・循環器の発達	呼吸数や脈拍数の年齢による変化と運動
3	大人へと変化するからだ	思春期における生殖器の発達とからだの変化
4・5 本時	受精のしくみと生命の誕生 性を受け止め、大切にす	受精のしくみとその意味 異性を大切にす関係と性情報への対処
6	心の発達と自分らしさ	知的機能の発達と脳との関わり
7	欲求の発達と欲求不満・ストレス	中学生の悩みとストレス
8	ストレスとのつき合いかた	心とからだのつながり、ストレスの対処法
9	心の健康	心の発達と心の健康

6 本時の指導

(1) 目標

異性の大切さを理解し、お互いを尊重して生活していく生き方について考えることができる。
受精とはどのようなことか理解し、その意味について考えることができる。

(2) 本時における【生徒の役割】【教師の役割】

本校では、男女共修で本単元を行うため、異性を意識し過ぎて、話し合いが深められなかったり、逆にふざけてしまい、興味本位な方向に向かってしまわないようにしたいと考えた。そこで、指導計画の4時間目と5時間目の内容を一緒にし、異性の大切さを考える 受精のしくみについて理解する その意味について実感 性情報に対する正しい対処法を身につける。このような手順で指導することとした。

本時は、異性という存在を受け止め、理解することから始まる。そのため、【生徒の役割】(生徒へ望む姿勢)として「異性の良いところを見つける。」ことを第一とした。また、男女がお互いに自分や相手の良いところを気兼ねなく発言し合えなくては、考えを深めることができない。そこで、【教師の役割】(場づくり)として、「男女一緒に考えを深めていけるような雰囲気づくりをする。」ことが大切であるが、このことは、生徒サイドにはあまり関係しないため、生徒には表に出さないこととした。また、異性を大切にす関係に気がつくために、具体的な例をあげて、視点をアドバイスすることで、異性の良い点がたくさん出るようにしたい。そのため、【教師の役割】(支援)のもう一つとして、「異性の良いところに気がつく視点をアドバイスする。」とした。

本時の後半は、図1を使って、受精のしくみについて説明し、最後にその意味について考えることで生命の大切さを感じさせたいと考えた。そのため、【生徒の役割】(生徒へ望む姿勢)の2番目として、興味本位に陥らず、まじめに妊娠の成立について考えて欲しいため「妊娠の意味を考えながら、受精のしくみと妊娠の成立を理解する。」とした。そのため【教師の役割】(支援)は、「受精のしくみや妊娠の成立について視覚的にわかりやすく説明する。」と考えた。

(3) 展開案

段階	学習内容	生徒の学習活動	・教師の支援 留意点 評価方法
導入	1 挨拶 2 既習事項のふり返り	挨拶をする。 自由発表	・男女の体の外見的な違いについて簡単にふり返らせる。
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本時の課題 異性を互いに大切にすることを大切にする関係とはどのような関係か。 受精とはどのようなことか、どんな意味を持っているのか。 </div>		
展開 35分	3 男女の生き方の違いについて 4 なぜ男女という存在が必要なのか 5 卵子、精子の動きと進む流れ	班毎に話し合い発表する。 <生徒の反応> 男 働く 家庭を守る。 女 妊娠 出産 家事 【生徒の役割】 異性の良い点を見つける。 班毎に話し合い発表する。 <生徒の反応> ・遺伝的に発展性がある。 ・特徴を生かして助け合える。 図1を見ながら精子と卵子の動き、さらに受精の成立について理解する。 【生徒の役割】 受精の卵子と精子の流れを覚える。	・両親の家庭での役割分担や、社会での男女の生き方について考えさせる。 男女両方の意見を取り上げる。 妊娠、出産、育児という女性の大変さに目を向けさせる。 ・異なった特徴を持った二人が一緒に生活していくことの良さを考えさせる。 特徴を生かして補い合って生きていくことのすばらしさに目をむけさせる。 異性への関心、性衝動は成長課程において当然であることを理解させる。 【教師の役割】 異性の良いところに気がつく視点をアドバイスする。 関心・意欲・態度 話し合いに参加する姿勢やまとめた内容による。 図を使うことで卵子や精子の動きを具体的に視覚的に説明する。 さらに図により、受精卵の動きを説明することで妊娠の成立について理解させる。 【教師の役割】 受精のしくみについて図を使って卵子と精子の流れを視覚的に説明する。 思考・判断 知識・理解 学習プリントのまとめによる。
終末 10分	6 生命の尊さと親の愛情のすばらしさについて 7 挨拶	「妊娠、出産、育児の幸せ」のビデオを見て「生命の誕生」のすばらしさを感じる。	自分が尊い存在として、この世に生まれてきたことを感じ取らせる。

具体の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・異性を大切にすることを大切にする生き方について考えを深め、受精の仕組みと妊娠の成立について理解しようとしている。	・受精・着床が生命の誕生であることがわかり、異性を大切にすることを大切にする生き方について正しい判断をすることができる。	・受精や着床がどのように起こるかを理解し、その知識を正しく身につけている。

3 大人へと変化するからだ

課題

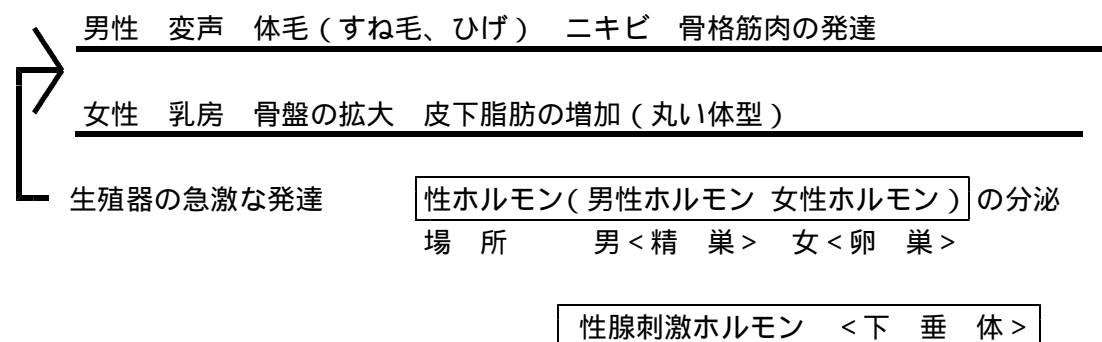
思春期になると生殖器の発達やからだの変化が起るのはなぜでしょうか。
月経や射精はどのようなしくみで起こるのでしょうか。

〔生徒の役割〕・男女のからだつきや機能の違いがはっきりしてくる理由を考える。
・卵子と精子の動きに注目しながら説明を聞く。

〔教師の役割〕生殖器や男女のからだの変化のしくみとホルモンの関係を図を使いながらわかりやすく説明する。

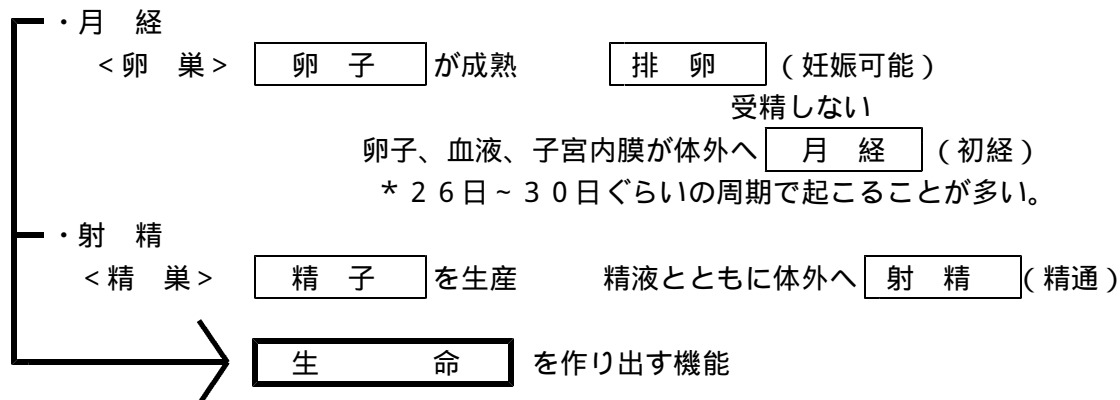
思春期の生殖器の発達

Q 思春期には、男女のからだつきがどうかわりますか？



* 子のほうが2年ほど早く発育急進期をむかえる。

月経、射精のしくみ



4 受精のしくみと生命の誕生

5 性を受け止め、大切にする

課題

異性を互いに大切にする関係とはどのような関係か。
受精とはどのようなことか、どのような意味を持っているのか。
性情報に対してどのように対処すればよいか。

- 〔生徒の役割〕・異性の良いところを見つける。
・受精の卵子と精子の流れを覚える。
・性情報への正しい対処の仕方一つ以上あげる。
- 〔教師の役割〕・異性の良いところを見つける視点をアドバイスする。
・受精のしくみについて、図を使って卵子と精子の流れを視覚的に説明する。
・性被害や性情報の氾濫の現状を具体的に説明する。

異性をたがいに大切にする関係

Q1 男女の生き方の違いは何ですか？

男性 給料を持ってくる 家族を守る 力仕事をする 戦う

女性 家事をする 出産する 優しい きめ細やか

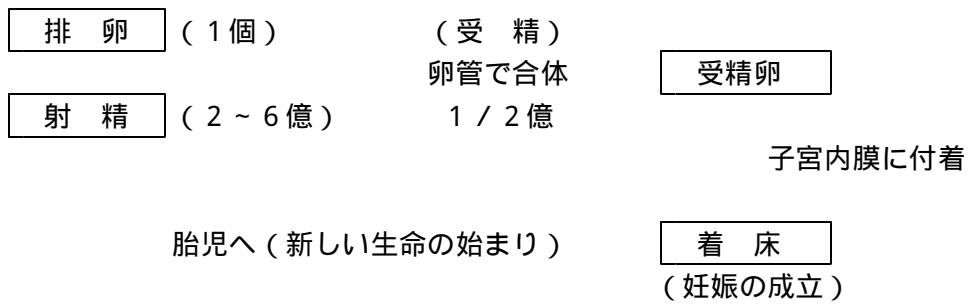
Q2 なぜ、男女という存在が必要なのか？

良いところを出し合って発展できる。 弱いところを補える。

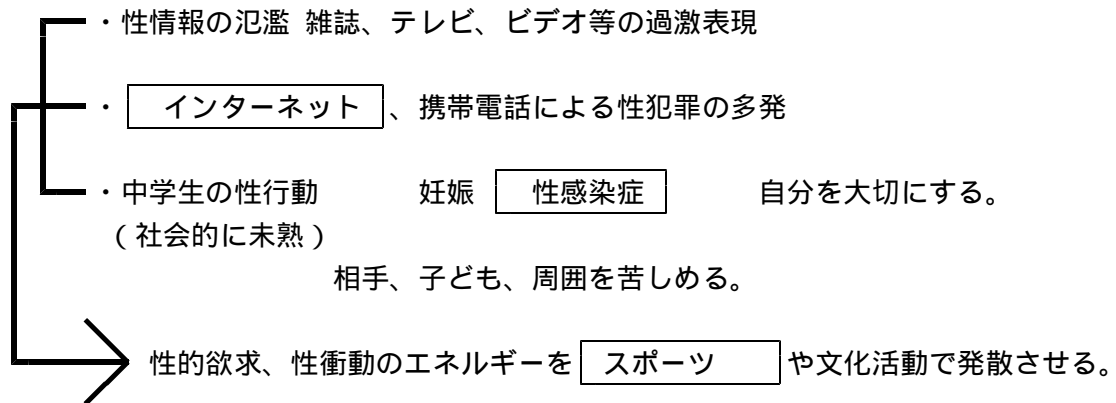
互いの性の違いを理解し、尊重して、助け合って生きていくことが重要

異性に惹かれ、関心を持つことは人間として当然のこと。

受精のしくみと生命の誕生



性情報に対する正しい行動選択のために



3 大人へと変化するからだ

課題

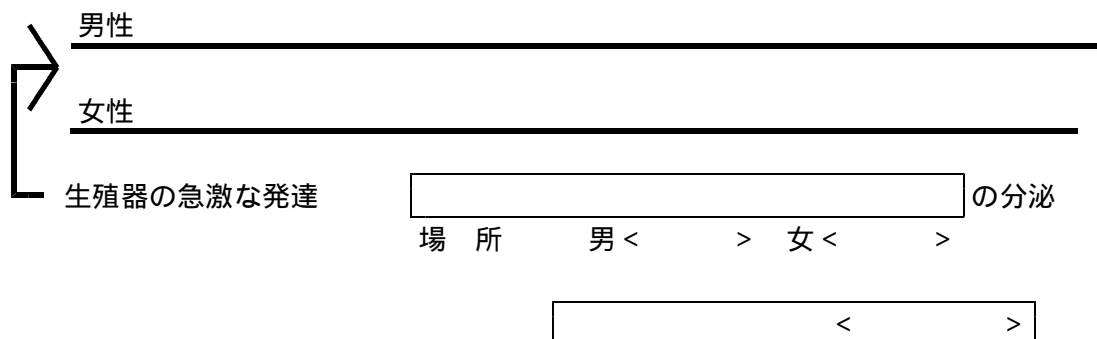
思春期になると生殖器の発達やからだの変化が起るのはなぜでしょうか。
月経や射精はどのようなしくみで起こるのでしょうか。

〔生徒の役割〕・男女のからだつきや機能の違いを考える。
・卵子と精子の動きに注目しながら説明を聞く。

〔教師の役割〕生殖器や男女のからだの変化のしくみとホルモンの関係を図を使いながらわかりやすく説明する。

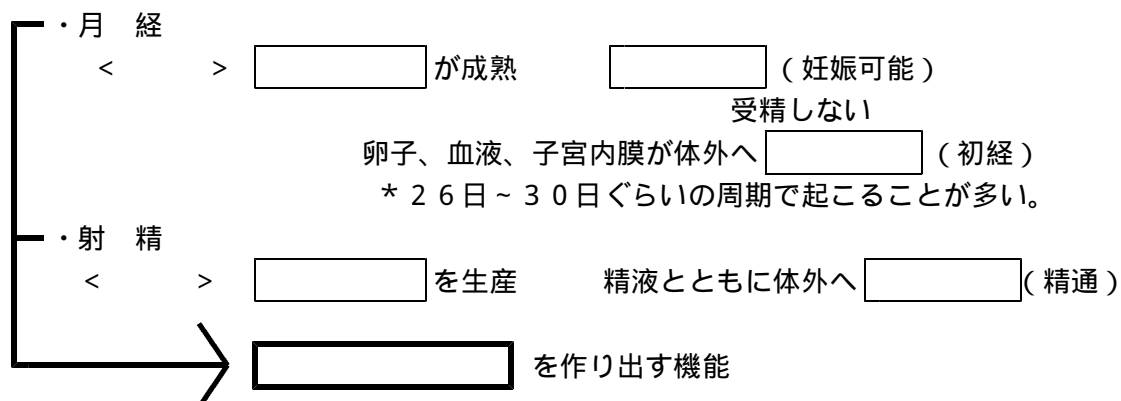
思春期の生殖器の発達

Q 思春期には、男女のからだつきがどうかわりますか？



* 子のほうが2年ほど早く発育急進期をむかえる。

月経、射精のしくみ



4 受精のしくみと生命の誕生

5 性を受け止め、大切にする

課題

異性を互いに大切にする関係とはどのような関係か。
受精とはどのようなことか、どのような意味を持っているのか。
性情報に対してどのように対処すればよいか。

- 〔生徒の役割〕・異性の良いところを見つける。
・受精の卵子と精子の流れを覚える。
・性情報への正しい対処の仕方一つ以上あげる。
- 〔教師の役割〕・異性の良いところを見つける視点をアドバイスする。
・受精のしくみについて、図を使って卵子と精子の流れを視覚的に説明する。
・性被害や性情報の氾濫の現状を具体的に説明する。

異性をたがいに大切にする関係

Q 1 男女の生き方の違いは何ですか？

男性

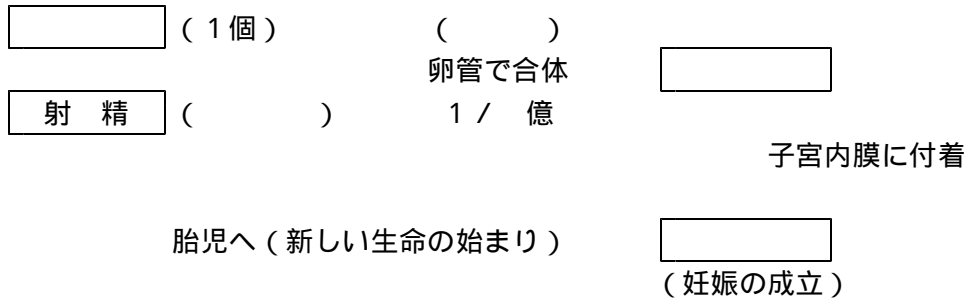
女性

Q 2 なぜ、男女という存在が必要なのか？

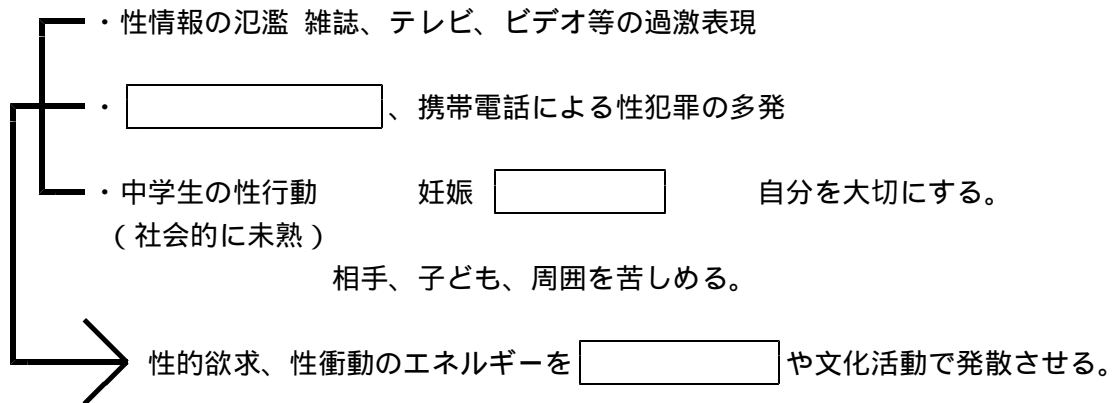


異性に惹かれ、関心を持つことは人間として当然のこと。

受精のしくみと生命の誕生



性情報に対する正しい行動選択のために



下垂体

性腺刺激
ホルモン

性
ホルモン

性

腺

精

巢

卵

巢

卵

精

卵

精

子

子

管

通

初

經

月

經

受

精

着

床

子

宮

排

卵

射 精

受 精 卵

A × B

AB

ABC

ABCD

ABCDE